

登録医ニュース

メタセコイア

第41号
2017.7

編集・発行/東北医科薬科大学病院 医療連携センター

〒983-8512 宮城県仙台市宮城野区福室1丁目12番1号 Tel(022)259-1221(代表)
Tel(022)388-9593(医療連携センター直通) Fax(0120)25-9121(医療連携センター直通)
Eメールrenkei@hosp.tohoku-mpu.ac.jp ホームページhttp://www.hosp.tohoku-mpu.ac.jp

副院長就任のご挨拶

～消化器外科 診療体制の充実と強化について～

東北医科薬科大学病院 副院長 消化器外科科長 ^{しばた}柴田 ^{ちかし}近

平素より登録医の先生には大変お世話になっております。この4月に診療、医療安全、診療情報担当の副院長を拝命しました。昨年の東北医科薬科大学病院開院から1年以上が経ちましたが、まだ多くの解決課題があります。慣れない管理職ではありますが、大学・病院のために尽力する所存です。

この1年間で当院の診療科、医師数、共に増加し、より充実した医療を患者さんに提供できるようになりました。私が所属します消化器外科も充実した体制となりましたので、宣伝も兼ねて説明させていただきます。消化器外科は東北厚生年金病院の時代から長らく5名が定数でしたが、東北薬科大学病院となった2013年秋に私が6人目の常勤医として赴任しました。昨年は小川、今年の中野、武山の2名が赴任となり、合計9名まで増えました。小川までの7名は東北大学第一外科出身だった関係で食道癌の手術は困難でしたが、中野、武山は東北大学第二外科で食道疾患を扱っていた食道外科の専門医で、食道癌に対する胸腔鏡下食道切除が可能となりました。また、術前化学療法や化学療法・放射線治療を必要とする症例でも対応します。食道癌に対する内視鏡的切除、化学療法は従来から消化器内科の米地先生が取り組んで来られましたが、これで食道癌に対するほぼ全ての治療が可能になりました。また、今年春にがん治療支援科(緩和科)が稼働しました。消化器外科の児山が担当で、週に2回の外来を行い、5床が割り当てられています。疼痛管理などのいわゆる緩和医療はもちろんのこと、がんによる栄養低下症例の栄養サポートなど、幅広くがん患者さんの支援を行なうことを目指しています。症例がありましたら是非ご紹介下さいますようお願い致します。

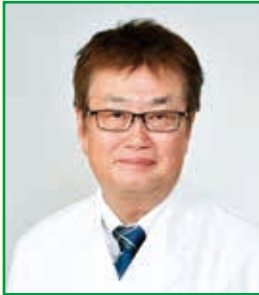
本学医学部は、地域医療に貢献できる医師を養成し東北地方に定着させることを最重要課題として設立された経緯があります。登録医の先生との緊密な関係の構築が本学医学部設立の主旨にかなうことだと信じておりますので、今後ともどうぞ宜しくお願い致します。



泌尿器科

—最新型ダビンチXiを用いた最先端的手術方法で低侵襲治療を行います—

泌尿器科科長 ^{さとう}佐藤 ^{まこと}信



もともと、当院泌尿器科は東北厚生年金病院時代より、1～3人の常勤体制で運営されておりましたが、平成25年4月東北薬科大学病院となりましてからは、常勤医不在となり、近隣の医療機関から入院希望の患者さんを長いあいだお引き受けできない状態にありました。また、健診でPSA高値の患者さん、緊急性の高い尿路結石の患者さんの精査も断らざるを得ない状況にありこの間、多数の先生方にはご不便、ご迷惑をおかけしておりました。

この度、東北医科薬科大学病院では平成29年4月より泌尿器科を新たに開設いたしました。常勤医は5人が着任しており、ほとんどすべての泌尿器科疾患（腎癌、尿路上皮癌、精巣腫瘍、副腎腫瘍、前立腺肥大症、尿道狭窄、尿道損傷、先天性尿路疾患、尿路結石、神経因性膀胱、尿失禁、尿管管関連疾患等）に幅広く迅速に対応できる体制が整っております。

特徴的な治療法としては、昨年、日本国内で罹患率が男性癌のトップとなりました前立腺癌の治療において、内分泌治療、がん化学療法、放射線治療、手術療法などあらゆる治療法で網羅的に対応しております。

特に前立腺癌手術、腎癌の腎部分切除手術として保険適応され、最近着目されているロボットアシスト腹腔鏡下手術では宮城県では初めてのダビンチ Xi という最新鋭のロボットを導入し、より効率性の良い、精度、安全性の高い手術を行っております。

また、前立腺肥大症に関しては大きな肥大症に関しても安全性の高いHoLEPによるレーザー前立腺核出術、結石に関しては最新の軟性尿管鏡、硬性尿管鏡、細径腎盂鏡、レーザー出力装置を用いたより高度な低侵襲手術を行っております。また男性尿失禁に対してはAMS800による人工尿道括約筋を用いた治療を積極的に行っております。東北医科薬科大学病院の売りである地域連携力、院内の各科横断の連携力を武器に一人でも多くの患者さんに対する医療貢献をめざして努力していきたいと思っております。今後とも、引き続きのご支援、よろしくお願い致します。

泌尿器受診時のお願い

紹介状をご持参下さい。

検査等の都合もあり、予約を取ってから受診していただくようお願いいたします。

なお、ご予約は医療機関からの申し込みに限らせていただいておりますのでご紹介をいただく際には当院の予約手続きを行って下さい。

今回、治療内容のチラシを同封いたしましたのでぜひご覧ください。



教授：佐藤 信
(さとう まこと)
S59年卒
東北大学



准教授：海法 康裕
(かいほう やすひろ)
H4年卒
東北大学



助教：伊藤 淳
(いとう じゅん)
H17年卒
東北大学



助教：阿南 剛
(あなん こう)
H20年卒
聖路加病院



助教：岩村 大径
(いわむら ひろみち)
H22年卒
弘前大学

～連携センターからのお知らせ～

乳腺外科の受診について

当院の乳腺外科は平成 29 年 4 月 1 日より医師の増員に伴い、月曜日から金曜日まで診察をしておりますので、ぜひご紹介下さい。

■対象疾患

乳がん、乳腺線維腺腫、乳腺葉状腫瘍、乳管内腫瘍、乳腺症
乳がん検診での要精密検査に対する 2 次検査

■受付について

予約なしで受診可能ですので紹介状をご持参の上、受付時間内にお越し下さい。
受付時間 8 時 30 分～ 11 時 30 分

曜日	月	火	水	木	金
新患	鈴木昭彦	朴 英進	朴 英進	朴 英進	鈴木昭彦

■予約について

連携センターに診療情報提供書の F A X をお願いいたします。
医師や日程の希望がなければ、こちらで最短の日時でお取りいたします。

■検査について

外来受診日に基本検査であるマンモグラフィ、超音波検査、組織診（針生検）、細胞診などを行います。
これら即日検査により、概ね 7 ～ 10 日間で確定診断を得る方針としております。
当院のマンモグラフィ検査は女性放射線技師が対応いたします。

■セカンドオピニオン（完全予約制）

他院での乳腺疾患診療についてお悩みがある場合は連携センターまでご連絡下さい。

■診療科長あいさつ

すずき あきひこ
鈴木 昭彦



当科の乳腺外科チームでは、主に原発性乳がんや再発乳がんを対象として手術療法、薬物療法、放射線治療法を含めた集学的治療を行っています。また、その他の乳房腫瘍の治療も行います。

日本女性が一番多く罹患するがんは乳がんです。最近の統計ではおよそ 11 人に 1 人の確率で乳癌になると言われています。また乳がんは 40 代、50 代の家庭でも職場でも中心となるべき年代で罹患率が最も高く、その克服は社会的使命であると考えています。

乳腺の疾患は乳がんだけでなく、良性の腫瘍や乳腺炎などの診療の対象としております。的確な画像診断や検査、手術を始めとした化学療法、放射線療法など専門性を活かした医療を提供できるような体制を整えております。

予防接種外来について

～予防接種(ワクチン)外来開設いたしました～

感染症内科・感染制御部 科長 ^{せき} 関 ^{まさふみ} 雅文



平成 29 (2017) 年 5 月より、「予防接種 (ワクチン) 外来」を開設いたしました。これには、大きく「医療職関連の各種感染症予防接種 (16 歳以上)」と「渡航前予防接種」との 2 種類があります。

「医療職関連の各種感染症予防接種」は、医療系学校への入学や実習等の際し、感染予防の観点から感染症の抗体価を検査し、必要時に予防接種を行うものです。医師や看護師などのスタッフのみならず、病棟で実習を行う学生さんや教職員、事務職の方も、B 型肝炎ウイルスや麻疹、風疹などに感染するリスクがあり、現

在では多くの学校や病院での入学・入職時に確認を求められています。

また、「渡航前予防接種」は、特定の国や地域に渡航する場合に、入国前に、狂犬病や A 型肝炎などの予防接種が義務付けられている場合もありますので、当外来において、海外旅行、海外出張、海外留学・赴任等に伴う各種予防接種を行うというものです。

いずれも、近年、多くの問い合わせがあり、これらのニーズに答える形で開始しました。紹介状はご持参いただかなくても構いません。但し、ワクチンの納入に時間がかかることもあり、特に「渡航前予防接種」は、完全予約制としています。窓口は医療連携センター 医療連携課となっています。どうぞ何なりとお問い合わせください。詳細は当院ホームページをご覧ください。

できるだけ多くのご要望に対応いたします。皆様の予約、受診をお待ちしています。



医療職関連の各種感染症予防接種と渡航前予防接種は問い合わせ先が違いますのでお手数ですが予約を取る際にはご確認ください。

■医療職関連の各種感染症予防接種

診 察 日 毎週月曜日・木曜日 (祝日、年末年始除く)

診察時間 8:30 ~ 11:30

お問い合わせ 平日: 15:00 ~ 16:00 (祝日、年末年始を除く)

窓口: 感染症内科外来 (内線: 1235) TEL: 022-259-1221 (代表)

■渡航前予防接種

診 察 日 毎週月曜日 (祝日、年末年始除く)

診察時間 完全予約制 11:00 ~ 12:00

ワクチンの準備があるため、予約申し込み日の翌々週の月曜日が受診予約日となります。

お問い合わせ (予約先) 平日: 15:00 ~ 16:00 (祝日、年末年始を除く)

窓口: 医療連携センター TEL: 022-388-9593 (連携センター直通)
022-259-1221 (代表)

■予防接種料金

水痘 4,500 円 (税込) 風疹 6,300 円 (税込) おたふくかぜ 6,300 円 (税込)

麻疹 6,300 円 (税込) A 型肝炎 8,400 円 (税込) B 型肝炎 5,600 円 (税込)

破傷風 3,700 円 (税込) 日本脳炎 7,100 円 (税込) 狂犬病 14,600 円 (税込)

マラリア (予防内服) 8,700 円 (税込)

～新大学病院棟ができるまで 第1回～

新大学病院棟建設工事安全祈願祭を行いました

平成 29 年 3 月 19 日（日）、当院のある東北医科薬科大学福室キャンパスにおいて新大学病院棟建設工事安全祈願祭が挙行されました。

式には、高柳元明理事長・学長、福田寛医学部長、近藤丘統括病院長をはじめ、本学関係者、設計業者・施工業者ら約 50 名が出席し、工事の安全を祈願しました。工期は平成 29 年 3 月から同 31 年 1 月の約 2 年間の予定です。

医学部設置に伴い、福室キャンパスではハード・ソフト両面での教育・研究環境の整備や、診療体制の充実・強化を進めております。新大学病院棟建設もその一環であり、今年 2 月に竣工した第二教育研究棟（解剖学や病理学の実習室を備える）、来年 1 月に完成予定の第一教育研究棟（医学部教室、研究室、図書室等を備える）と合わせ、本件の完成により医学部に関連する建物の整備は一巡することになります。

新大学病院棟は、ハイブリッド手術室、バイオクリーン手術室を含め手術室 9 室のほか、リニアックなど高機能の機器を備えた放射線治療室や画像診断室等を有しており、これまで以上に高度で先進的な医療の提供が可能となります。病床数は ICU 14 床を含め約 150 床で、既存病院と併せた総病床数は 600 床を超え、医学部を設置する大学附属病院として相応の規模を確保することになります。



建設予定地

右は既存病棟、左は建設中の第 1 教育研究棟



鍬入する高柳理事長・学長



御神酒拝戴の様子



式場全体の様子



新大学病院棟 完成予想図



外来診療担当一覧表

平成29年7月1日現在



東北医科薬科大学病院

電話 022-259-1221(代表)

電話 022-388-9593(医療連携センター直通)

FAX 0120-25-9121(医療連携センター直通 FAX)

階	診療科	月	火	水	木	金	
1F	消化器内科	診察室④ 新患 佐藤賢一 診察室⑤ 新患 廣田衛久 診察室⑥ 再来 小暮高之 診察室⑦ 再来 近藤史帆	新患 米地真 新患 近藤史帆 再来 目黒敬義 新患 遠藤克哉	新患 佐藤賢一 新患 近藤遠藤 再来 小暮高之	新患 目黒敬義 新患 遠藤克哉 再来 廣田衛久 再来 米地真	新患 目黒敬義 新患 廣田衛久 再来 佐藤賢一 再来 小暮高之	
	外科	新患 診察室① 岩指元一 再来 診察室② 木村俊一 再来 診察室③ 片寄友	柴田和明 向田和明 児山香	向田和明 岩指元一 中野徹	米地真 児山香 武山輔	中野徹 荒木孝明 小川仁	
	がん治療支援科(緩和科)	診察室④	児山香	児山香	児山香	児山香	
	乳腺外来・ 内分泌科	新患 診察室⑥ 鈴木昭彦 再来 診察室⑦ 朴英進	朴英進	朴英進	朴英進	鈴木昭彦	
	呼吸器内科	診察室② 海老名/佐藤 診察室① 海老名雅仁 新患・午後 診察室② 海老名雅仁	阿部達也 海老名雅仁 海老名雅仁	大野勲夫 小林隆夫	海老名雅仁 海老名雅仁	大類孝 阿部達也	
	感染症内科	診察室① 関/福家 診察室① 関雅文				関雅文	
	予防接種外来(特殊外来)	診察室①					
	呼吸器外科	新患・再来 診察室④	田畑俊治	菅原/石橋	田畑俊治	田畑俊治	
	循環器 内科	新患 診察室① 片平美明 診察室② 門脇心平 再来 診察室③ 宮下武彦	片平美明 門脇心平 宮下武彦	山家実 長谷川薫 小丸達也	山家実 長谷川薫 中野陽夫	中野山家 菊田寿子 関口祐子	
	心血管外科	診察室④	三浦誠	三浦誠	三浦誠	三浦誠	
	血液・ リウマチ科	新患 再来 午前 午後 注意：血液疾患 は診察しており ません。 再来 午前 午後	武田朋樹 小寺隆雄 小寺隆雄	武田朋樹 小寺隆雄 小寺隆雄	小寺隆雄 竹下美紀	岡友美子 武田朋樹 岡友美子	岡友美子 小寺隆雄 小寺隆雄 竹下美紀 武田朋樹
	整形外科	新患・再来 (専門外来)	千葉晋平 小澤浩司 〈リウマチ〉 佐野徳久	峯岸英絵 〈関節〉 佐野徳久	峯岸英絵 〈骨粗鬆症〉 石塚正人	峯岸英絵 〈脊椎〉 小澤浩司	第1,3 第2,4 峯岸千 田葉 聡
	糖尿病代謝 内科	診察室① 新患 丹治泰裕 診察室② 再来 三田貴士 診察室③ 再来 善積信介	再来 石丹正人 新患 三田貴士 再来 善積信介	新患 赤井裕輝 再来 渡辺太一 再来 丹治泰裕	再来 渡辺太一 新患 善積信介	再来 赤井裕輝 再来 三田貴士 新患 渡辺太一	
	小児科		藤井喜充	小川英伸	森本哲司	藤井喜充	
	禁煙外来	隔週	手塚則明				
	神経内科	新患 再来 再来	中島一郎 石垣あや 第1,3 応援医師	小林理子 菊池大 藤盛寿一	小林理子 藤盛寿一	中島一郎 小林理子 菊池大	
	救急科		遠藤・大村/佐藤・大原 山家研一郎 住友和弘 古川勝敏	遠藤・大村/山家・大原 濃沼信夫 住友和弘 佐藤滋	遠藤・大村/佐藤・大原 濃沼信夫 大原貴裕 古川勝敏	遠藤・大村/佐藤・大原 山家研一郎 宮澤イザベル 大原貴裕	
	総合診療科		山家研一郎 住友和弘 古川勝敏	濃沼信夫 住友和弘 佐藤滋	濃沼信夫 大原貴裕 古川勝敏	山家研一郎 宮澤イザベル 大原貴裕	
	2F	耳鼻咽喉科	太田伸男 粟田口敏一 東海林史 午後 松谷幸子	隔週 粟田口/東海林 鈴木貴博 野口直哉	太田伸男 粟田口敏一 野口直哉	東海林史 野口角田 高橋由紀子	粟田口敏一 鈴木貴博 角田梨紗子
		放射線科	小山/古積	小山/古積	小山周樹	小山周樹	応援医師
		歯科口腔 外科	新患・再来 口腔外科	細谷誠明 午後 篠原文明	細谷誠明 篠原文明	細谷誠明 篠原文明	細谷誠明 篠原文明
		泌尿器科	福崎篤	海法康裕 伊藤/阿南/岩村	佐藤信 伊藤/阿南/岩村	佐藤信 伊藤/阿南/岩村	海法康裕 伊藤/阿南/岩村
		腎臓	再来 森建文	新患 再来 矢花郁子 新患 再来 衣笠哲史 新患 再来 中村はな 新患 再来 目時仁弘	再来 森建文	新患 再来 森建文 新患 再来 森建文	再来 佐藤真一
		内分泌	再来 中村はな 再来 森建文	新患 再来 中村はな 新患 再来 森建文	再来 中村はな 再来 森建文	新患 再来 森建文	再来 中村はな 第2,4 井樋慶一
		皮膚科	診察室①	岡昌宏	坂口正展	岡昌宏	坂口正展
眼科		再来 午前 診察室① 午後 再来 再来 午前 診察室② 午後 新患 診察室③	高橋秀肇 西郷/西川 西郷陽子	多田麻子 西川将平 西郷陽子	多田麻子 西郷陽子 西川将平	高橋秀肇 多田麻子 西川将平	
精神科		診察室①(午前) (午後) 診察室②(午前) (午後) 診察室⑤(午前) (午後)	新患 鈴木映二 再来 鈴木映二 新患 山田和男 再来 山田和男 再来 櫻田久美 再来 櫻田久美	新患 吉村淳 再来 吉村淳 新患 丹生谷正史 再来 山田和男 再来 中川誠秀 再来 中川誠秀	新患 吉村淳 再来 吉村淳 新患 鈴木映二 再来 丹生谷正史 新患 中川誠秀	新患 櫻田久美 再来 櫻田久美 新患 吉村淳 再来 吉村淳	
腫瘍内科		新患 再来	下平/工藤 室谷嘉一	下平/工藤 伊藤修	工藤/下平 室谷嘉一	工藤/下平 高橋麻子	
リハビリ テーション科		リハビリ前診 初診 再診 13時~15時 再診	室谷嘉一 深谷孝夫 喜多川亮	伊藤修 渡部洋透 中西透	室谷嘉一 深谷孝夫 喜多川亮	内海由也 中西透 深谷孝夫 喜多川亮	
産婦人科		初診 再診 13時~15時 再診	室谷嘉一 深谷孝夫 喜多川亮	伊藤修 渡部洋透 中西透	室谷嘉一 深谷孝夫 喜多川亮	内海由也 中西透 深谷孝夫 喜多川亮	
もの忘れ外来		新患	精神科担当医	総合診療科担当医	精神科担当医	総合診療科担当医	

※都合により担当医師が変更している場合があります。